

9月19日、藤代小学校で環境学習のお手伝い

NPO 緑の会

特定非営利
活動法人
NPO緑の会
取手市小文間
3838-1
TEL 0297-
72-8791



藤代小学校4年1組と2組の皆さんを対象に、NPO緑の会のメンバーが出向いて、環境学習教室が開催されました。はじめに、多目的教室では2クラス合同の学習会が開かれました。スライドを使って「微生物」って何なのが始まって、微生物はどんな働きをしてくれるのかについて石川さんから説明をしました。

微生物とは、顕微鏡でなければ見ることのできないとても小さな生物であること。私たちににとって良い微生物(善玉菌)と腐敗菌や病原菌などの悪い微生物(悪玉菌)がいること。乳酸菌や酵母菌などの善玉菌の働きで、味噌や醤油、チーズやヨーグルト、納豆やパンなどの食べ物ができること。また、微生物は山林の落ち葉や昆虫や動物たちのウンチや死がいなどを分解して土に戻してくれる、いわば地球のお掃除屋さんであること。そして、私たちNPO緑の会では、善玉菌の集まりであるEMを利用して、生ごみの堆肥化や河川やプールの浄化、家庭菜園での野菜作りなどの活動をしていること。

生徒の皆さんは、興味深く最後まで真剣に聞き入ってくれていました。次の時間は1組、2組それぞれの教室に分かれて、実際に米のとぎ汁発酵液と生ごみ堆肥の作り方を体験してもらいました。1組の担任は小林絹子先生で児童数32名、2組は和田義武先生で児童数33名。1組の講師役は若林さん、2組は石川さんが担当。それぞれ4つのグループに分かれての作業にはNPO緑の会のメンバーがアドバイス要員として付きました。●EM米のとぎ汁発酵液の作り方 生徒の皆さんが自宅から持参した2リットル入りのペットボトルの米のとぎ汁に、EMと砂糖各40ccとひとつまみの天然塩を紙で作ったジョウゴで入れますが、紙のジョウゴがうまく丸まらず、少し苦勞す

前のプール清掃の労力や時間が格段に効率よく楽にできる



参加した緑の会の皆さん

微生物には人間に役立つ善玉菌や困った存在の悪玉菌が

この環境学習を通じて、生徒の皆さんが、地球上には目に見えない微生物がいて、それらの働きで地球環境が成り立っていること。

この時期10日ほど保管しておくと、生ごみが発酵して上質な堆肥がで上がります。こつとしてできた堆肥は9月30日に学校の花壇にすき込むことになっています。

生徒の皆さんはEMボカシを手にとつて、臭いを嗅いで、チヨット又力漬けに似てるとか、言いながら、楽しそうに体験してくれました。

米のとぎ汁発酵液作りが終わると、次は生ごみ堆肥の作り方の実習です。最初に「生ごみ処理バケツ」の底に新聞紙を敷きます。次に学校で用意していただいた給食後の生ごみをEMボカシと交互に入れてかき回しながらバケツに入れていきます。

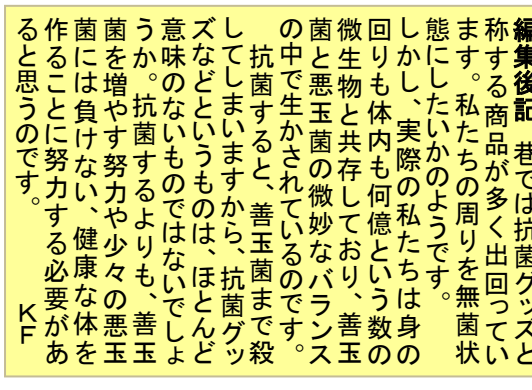
米のとぎ汁発酵液作りが終わると、次は生ごみ堆肥の作り方の実習です。最初に「生ごみ処理バケツ」の底に新聞紙を敷きます。次に学校で用意していただいた給食後の生ごみをEMボカシと交互に入れてかき回しながらバケツに入れていきます。

この他、米のとぎ汁発酵液は水の浄化、トイレやペットの消臭効果、洗濯、お風呂、野菜作りなどと多くのことに利用できるのです。

さらに、シーズン終了後にプールの水を流すと、EMが働いてその先の川や海を浄化してくれます。

善玉菌の集まりであるEMには沢山の良い働きがあることなどを少しは理解してもらえたのではないだろうか。

良い天気にも恵まれた9月30日(火)、いよいよ発酵した米のとぎ汁発酵液をプールに投入すること、良く発酵した生ごみ堆肥を花壇にすき込む日です。



「EMさん、頑張つてプールをきれいにしてくね。」と掛け声を掛けながら、一斉にプールに投入しました。

これで来年のシーズン前のプール清掃は、これまでと違ってとても楽になることでしょう。

次は、グループ毎に作った8つのバケツの生ごみ堆肥を建

米のとぎ汁発酵液のプール投入と生ごみ堆肥の花壇へのすき込み

物脇の花壇に入れます。生徒さんの数の割には花壇が狭いので、交代しながらバケツを花壇にひっくり返して、すき鍬やスコップで土と良く混ぜるように作業をしてくれました。ここに植えられる草花は、きつと他よりきれいな花を咲かせることでしょう。

編集後記 巷では抗菌グッズと称する商品が多く出回っています。私たちの周りを無菌状態にしたいかのようです。しかし、実際の私たちは身の回りも体内も何億という数の微生物と共存しており、善玉菌と悪玉菌の微妙なバランスの中で生かされているのです。抗菌すると、善玉菌まで殺してしまいますから、抗菌グッズなどというものは、ほとんど意味のないものではないでしょうか。抗菌するよりも、善玉菌を増やす努力や少々の悪玉菌には負けない、健康な体を作ることに努力する必要があります。KF